

保護者の皆さまへ……

鹿大だより

第21号

KAGOSHIMA UNIVERSITY

編集・発行 / 国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市都元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp



郡元キャンパス/学習交流プラザ

郡元キャンパスの学習交流プラザは、学生、教職員等が相互に交流を深めることにより、学生の進取の精神を育み、活気ある交流と情報交換を促進することを目的として、平成25年10月に設置されました。ガラス張りの開放的な空間に、グループ学習室や学習交流ホール、学習ラウンジ、サークル活動の展示スペースなどが設けられています。また、学生の自主学習をサポートするための書店や売店も併設されています。

暖かい日はここでランチするのもオススメです

開放的なところが気に入ってるんだよね

1階のカフェコーナーや2階のグループ学習室をよく利用しています

●1階 / フードコーナー
座席は1階と2階合わせて約300席。ガラス張りの壁面はカウンター席になっています。

●2階 / 学習ラウンジ
ランチタイムには、学生たちによる「English Lunch Table」が開催され、英語だけでなく曜日によってスペイン語やフランス語、中国語の会話も体験できます。留学生と気軽に交流できる場となっています。

▲教育学部2年 / 平田 竜輝さん ▲法文学部4年 / 徳永 千鶴さん

稲盛会館

郡元キャンパスにある稲盛会館は、工学部創立50周年記念事業の一環として1994(平成6)年に稲盛和夫本学名誉博士の寄附によって、世界的に著名な建築家安藤忠雄氏の設計により建てられた独創的な卵型のホールです。稲盛会館は、稲盛名誉博士が御両親への感謝の気持ちを込めて「キミ&ケサ メモリアルホール」と命名されました。

卵型の建物は、新しい創造の生命が宿る小宇宙をイメージしているんだって

斬新なデザインだね! コンクリートの塊が飛び出してきたよ

▲法文学部4年 / 吉田 智貴さん

国際会議やシンポジウムなど科学技術を中心とした学内外の情報交換や知的交流の場として活用されているよ

▲法文学部1年 / 樋高 武尊さん

附属図書館

附属図書館は、キャンパス毎の中央図書館(郡元)、桜ヶ丘分館(桜ヶ丘)、水産学部分館(下荒田)3館で構成されています。電子版を含む図書、雑誌以外に、専門文献情報データベースも多数提供しています。また、貴重書として、島津久光および玉里島津家の旧蔵書である「玉里文庫」や古書籍等のコレクションを所蔵し、毎年その一部を公開しています。現在、蔵書数は126万余冊。中央図書館には、パソコン端末室、グループ学習室、飲食可能なアメニティルームも設置しています。一般にも開放されていますので、お気軽にご利用ください。

▲アメニティルーム
話が弾んで、ついつい長居しちゃうことも!

5階まで吹き抜けになっているんだね!

▲共同獣医学部3年 / 野口 あやなさん ▲法文学部3年 / ウィルキンソン ケビンさん

開館時間・休館日はHPで確認してね

▲農学部3年 / 角 穂奈美さん

鶴陵会館

桜ヶ丘キャンパスにある鶴陵会館は、平成9年3月に医学部創立五十周年を記念して、医学部の教育・研究の発展及び国際交流に資するため、医学部及び同窓会(鶴陵会)を中心とした多くの人々の寄附により桜ヶ丘キャンパス内に建てられました。

▲ウィリアム・ワイリスホール

下荒田キャンパス

下荒田キャンパスにある水産学部からは、雄大な桜島を一望することができます。

「海を怖れず、海を愛し、海を拓け」
水産学部のモットーとして石碑に刻まれています。

▲学生の学年は平成30年3月現在で表記しています。

鹿大の主な出来事

平成29年10月～30年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

詳細は、大学HPをご参照ください。
<https://www.kagoshima-u.ac.jp>

●平成30年度 全学キャリア・就職支援プログラム(予定)*1

○1～2年生対象	
4月～8月	● 共通教育科目前期「キャリアデザイン」開講
10月～翌年2月	● 共通教育科目後期「キャリアデザイン」開講
1月9日	● 1,2年生対象進路ガイダンス
○3年生(修士1年生)対象	
5月～翌年4月	● 公務員採用試験対策講座(大学生協)
5月23日	● 第1回就職ガイダンス「就活スタートアップ～インターンシップの活かし方」
6月6日	● 鹿大生のためのインターンシップ学内合同企業説明会*2
6月上旬	● 学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
8月9日	● 就職支援講座I「就活マナー実践」
10月3日	● 第2回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」
10月17日	● 内定者との懇談会
11月7日	● 第3回就職ガイダンス「文理別・業界(企業)研究」
12月～翌年6月	● 教員採用試験対策講座開設(大学生協)
12月12日	● 第4回就職ガイダンス「エントリーシート対策」
1月16日	● 第5回就職ガイダンス「面接対策&就活ストレス対処法」
2月上旬	● 企業向け小冊子「求人のための大学紹介」発行
2月12日	● 就職支援講座II「就活まとめ講座1&2」
2月12日	● 第6回就職ガイダンス「合説攻略法&グループディスカッション対策」
2月13日～15日	● 就職支援講座III「模擬面接&グループディスカッション実践」(3日間)
2月中旬	● 学内業界研究フェア(ブース形式・2日間)*2
3月中旬	● 学内個別企業セミナー・フェア(講義形式・3日間)

○4年生(修士2年生)対象

4月～翌年3月	● 学内個別企業説明会(随時)
4月11日	● 公務員採用試験説明会(国、鹿児島県、鹿児島市等)
5月中旬	● 県外公立学校教員採用試験説明会
5月下旬	● 鹿児島県公立学校教員採用試験説明会
6月20日	● 就職支援講座I「公務員・教員受験者向け集団討議対策」
7月4日	● 就職支援講座II「就活見直し講座」
7月11日	● 県内企業による学内合同企業説明会(ブース形式)
11月21日	● 個別進路相談会

○全学年対象

10月～翌年2月	● 業界・職種研究セミナー(随時)
10月31日	● 中小企業の魅力発見講座
11月・2月	● 卒業生による就職・キャリア支援セミナー(年間2～3回)

○2017年 秋季オープンキャンパスを開催

11月11日(鹿児島大学では初の企画)として2017年秋季オープンキャンパスを開催しました。例年8月に開催しているオープンキャンパスが、今年は台風の影響で一部日程を延期する状況になり、参加出来なくなった高校生生の参加機会の提供や大学紹介の機会を増やすことを目的として企画したものです。当日は、大学祭の期間中ということもあり、キャンパス内が非常に賑わっていました。

●稲盛名誉博士からの寄附受納式を開催

本学工学部の卒業生である鹿児島大学名誉博士(京セラ株式会社名誉会長)である稲盛和夫氏から、京セラの株式100万株の寄附を頂くこととなり、11月16日(受納式)を執り行いました。

受納式では、稲盛名誉博士から「母校である鹿児島大学の発展に役立つことをしたい」といって、京セラの株式を贈呈することになりました。株式の配当金を将来のある学生のために有効に使っていただきたいという挨拶がありました。

接洽の後、稲盛名誉博士から前

●鹿児島市内会の活性化(ひとと後)

法政学部法政学科の行政法務論・法政ゼミでは、昨年度からゼミ活動の一環として、町内会の活性化に向け、若者と町内会との交流策について提言を行っています。今年度は、3名のゼミ生5名が参加し、鹿児島中央駅西口に近い武地区の町内会活性化に向けた提言を行うことになりました。

この取組は、町内会の役員とワークショップ形式で数回にわたる議論を経て、若者の加わりやすくなるための提言を行うもの。参加学生にとって、実際に当該地区に赴き、役員の方々と議論を交わしたことは、地域コミュニケーションを

●鹿児島商工会議所とのインターンシップに関する意見交換会を開催

岩崎芳太郎鹿児島商工会議所会頭及び前田秀賢学長の挨拶に続いて、清原直理事・副学長に続いて、当が平成29年度開設の全学横断的教育プログラム「地域人材育成プラットフォーム」について、高松英夫理事・副学長(研究担当)から平成30年度からの九州・南九州諸島域共創機構及び産学地域共創センターの改組について概略説明の後、井佳佳副学長官連携推進センターの推進部長から課題解決型長期インターンシップの概要説明があり、実施における課題等について活発な意見交換が行われ、大学と企業との協力の重要性について再認識する機会となりました。

●コミュニティサイクル「かごりん」鹿児島大学ポートオープンニング

10月1日、郡元キャンパスにおいてコミュニティサイクル「かごりん」鹿児島大学ポートオープンニングがスタートしました。今回の「かごりん」鹿児島大学ポートについては、削減を目指す方針である「CO₂削減」の観点から、公共交通の利便性、②地域貢献と鹿児島市の方針である「CO₂削減」の両面から、③「かごりん」に関する

●第57回鹿大祭を開催

11月10日(13日、郡元キャンパス)で第57回鹿大祭が開催されました。恒例の前夜祭も、この日は「かごりん」のイベントも合わせて開催され、学生たち

●2017年 秋季オープンキャンパスを開催

11月11日(鹿児島大学では初の企画)として2017年秋季オープンキャンパスを開催しました。例年8月に開催しているオープンキャンパスが、今年は台風の影響で一部日程を延期する状況になり、参加出来なくなった高校生生の参加機会の提供や大学紹介の機会を増やすことを目的として企画したものです。当日は、大学祭の期間中ということもあり、キャンパス内が非常に賑わっていました。

●稲盛名誉博士からの寄附受納式を開催

本学工学部の卒業生である鹿児島大学名誉博士(京セラ株式会社名誉会長)である稲盛和夫氏から、京セラの株式100万株の寄附を頂くこととなり、11月16日(受納式)を執り行いました。

受納式では、稲盛名誉博士から「母校である鹿児島大学の発展に役立つことをしたい」といって、京セラの株式を贈呈することになりました。株式の配当金を将来のある学生のために有効に使っていただきたいという挨拶がありました。

接洽の後、稲盛名誉博士から前

●鹿児島市内会の活性化(ひとと後)

法政学部法政学科の行政法務論・法政ゼミでは、昨年度からゼミ活動の一環として、町内会の活性化に向け、若者と町内会との交流策について提言を行っています。今年度は、3名のゼミ生5名が参加し、鹿児島中央駅西口に近い武地区の町内会活性化に向けた提言を行うことになりました。

この取組は、町内会の役員とワークショップ形式で数回にわたる議論を経て、若者の加わりやすくなるための提言を行うもの。参加学生にとって、実際に当該地区に赴き、役員の方々と議論を交わしたことは、地域コミュニケーションを

●鹿児島商工会議所とのインターンシップに関する意見交換会を開催

岩崎芳太郎鹿児島商工会議所会頭及び前田秀賢学長の挨拶に続いて、清原直理事・副学長に続いて、当が平成29年度開設の全学横断的教育プログラム「地域人材育成プラットフォーム」について、高松英夫理事・副学長(研究担当)から平成30年度からの九州・南九州諸島域共創機構及び産学地域共創センターの改組について概略説明の後、井佳佳副学長官連携推進センターの推進部長から課題解決型長期インターンシップの概要説明があり、実施における課題等について活発な意見交換が行われ、大学と企業との協力の重要性について再認識する機会となりました。

野鳥研究会

レンズの先に住む好奇心を刺激する野鳥と自然の世界

聞き慣れない鳥の声を耳にすると、普段はどこに生息しているのか、繁殖は? 食餌は? と様々な疑問が湧いてきます。鳥好きが集まる野鳥研究会では、双眼鏡やカメラを携帯して、野鳥の種類や生息地の調査を続けています。創部は1980年ですが部員は男子10名、女子10名で週2回(火、金)の部会と週1回の学内野鳥観察(ルートセンサス)のほか、月1～2回の野鳥観察会として南さつま市や出水市など県内をはじめ、熊本・阿蘇、宮崎など渡り鳥の季節に合わせて県外へも足を延ばしています。鳥が見られない夏場には納涼船を楽しんだり、新入生歓迎会や猿ヶ城キャンプなど恒例のイベントをみんなで楽しんでいます。服装、持ち物、マナーなど先輩達から受け

継いだ多くの知識を仲間と共有し合い、奥深い野鳥の魅力に取り憑かれています。広大な自然の中で野山の鳥を観察する醍醐味と一緒に味わってみませんか。

フックウツウキャンプ(6月)の様子
*フックウツウ目撃ポイントの野鳥のこと

Clubs

水泳部

一泳専心! 団体出場権獲得に向け切磋琢磨

今年で創部68年を迎えた水泳部では、毎年6月に行われる九州地区公立大学選手権大会において全国公立大学選手権への団体出場権を獲得することを目標に、夏期は教育学部にある屋内プール、冬期は鴨池公園水泳プールにて週5日活動しています。現在部員は男子21名、女子8名で、幼い頃から水泳を続けている人もいれば、大学から始めた人もいます。個人では5名の選手が全国大会に出場することができ、また、2名の選手がインカレに出場しました。その他にも、週末は県内外問わず各地方大会に出場し、一人ひとりがベストタイムを更新できるよう励んでいます。練習や大会以外にも、他大学との交流を通して多くの水泳仲間と繋がったり、キャンプやご飯に行ったりと楽しい行事も盛りだくさんです。水泳経験者、未経験者関係なく、興味のある方はぜひ一度プールを訪ねてみてください。マネージャーも大歓迎です。プールサイドでお待ちしています。

九州地区公立大学選手権にて

●平成29年度 鹿児島大学進取の精神学生表彰

Table with columns: 被表彰者 (Nominee), 表彰理由 (Reason for Award). Lists various students and their achievements in fields like sports, science, and research.

●平成29年度 鹿児島大学福盛賞受賞者

鹿児島大学福盛賞は、本学を卒業された京セラ株式会社名誉会長 福盛 和夫氏のご寄附により、平成15年度から設けられた学生表彰制度で、①学業に専念し成績優秀で品行方正な最終年度の学部学生、②社会の期待にこたえるような業績を挙げた学部学生及び大学院学生、③その他前2号と同等以上の表彰に値する行為等があったと認められる学部学生及び大学院学生を表彰するものです。

●平成29年度 鹿児島大学工業倶楽部賞受賞

鹿児島大学工業倶楽部賞は、公益社団法人鹿児島県工業倶楽部との包括連携協力協定の目的に基づき、平成17年度から設けられた学生表彰制度で、鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績等を挙げた、大学院研究科に在学する最終年度の学生を表彰するものです。

●平成29年度 鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム

進取の精神チャレンジプログラムは、鹿児島大学学生憲章(平成22年11月15日制定)の趣旨に則り、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動の支援を通じて困難な課題に果敢に挑戦し、実践していくことによって鹿児島大学における進取の精神を継承することを目的としています。

◎留学だより

共同獣医学部 獣医学科 6年 高橋 香純さん
トビタテ!留学 JAPAN / フィリピン、ミャンマー、ドイツ、イギリス (2016年9月4日～2017年8月31日)
留学の動機は、獣医学の授業や実習で日本の畜産現場の実態を知ったことでした。アジアの途上国や欧州の畜産先進国を見ることで多角的な視点を得たかったのと、アニマルウェルフェア(AW)という概念から、動物の快適性にも考慮した畜産を学びたいと思い、留学を決意しました。



ドイツのハーフェー獣医科大学で肉用うさぎの飼育プロジェクト員として9カ月間毎週農場を訪れ、健康状態のスコアリングと飼育環境調査を行いました。
研究所のロコにウサギが乗っている。周りには思い出の写真。

◎平成30年度学事日程 (共通教育の例)

Table with columns: Date, Event Name. Lists the academic calendar for the 2018-2019 fiscal year.

活躍する鹿大生 ～平成29年度～ 特色ある学生の取り組みについて紹介します。

◎法文学部 法政策学科2年 / 國料 大夢さん

これまで、多くの方の支えがあり、やりたいことを実現してきました。1年生の5月にスポーツ・サークルカバディ同好会を結成し、大学公認となった翌年夏に、西日本大会で準優勝という成果を上げました。



西日本大会準優勝時の記念撮影。前列(1番)が國料さん

◎医学部 医学科2年 / 榮福 和希さん

ICFは、improve children's futureの略で、医学部生を中心としたボランティア活動のグループです。主な活動は、長期入院中の子どもに病院ではできない様々な体験を届けることです。



鹿児島市立病院の院内学級で、原籍校の遠隔授業を受ける長期入院中の小学生

◎農学部 生物生産学科4年 / 西 修平さん

日本での栽培が困難とされているシアスバラガス(和名、アックシノウ)の栽培に本学農場で取り組み、安定生産のための栽培法(水耕技術)確立に大きく前進することに成功しました。



シアスバラガスを栽培中の西さん

◎教育学部 学校教育教員養成課程理科4年 / 森岡 真弥さん

教育学部では、鹿児島県の特徴である離島教育複式学級教育を学校現場に行って学ぶことができます。また、グローバル教育も盛んで、留学制度が充実しており、留学生とのコミュニケーション等も豊富です。



現地の子どもたちと理科の体験学習

◎歯学部 歯学科3年 / 関 運さん

歯学部では、3年ほど前から学生の短期海外研修と研究活動に力を入れています。短期海外研修はカナダ、台湾、香港、インドネシアを中心に毎年10人以上の学生が派遣されています。



国際歯科研究学会日本支部での日本代表表彰式(左から2番目が関さん)

◎水産学部 水産学科3年 / 金氣 美恵子さん

私は、大学では主に国際的な食糧問題について学んでいます。昨年の夏に、JICA青年海外協力隊メンバーの水産開発分野でセントルシアを訪れました。



セントルシアのカナリーズで開催されたInternational Coastal Cleanupへの参加

◎理学部 地球環境科学科1年 / 中林 真梨萌さん

理学部では、サイエンスクラブという独自の取り組みを行っています。研究室配属前の学部1年生から自分の興味のある研究を行うことができます。



偏光顕微鏡を用いて結晶観察を行う中林さん

◎工学部 化学生命工学科4年 / 田城寺 佑貴さん

私は、高校生の時に化学に興味を持ち、将来は製薬に関わる仕事に就きたいと考え、化学生命工学科への入学を希望しました。学部の課程では、化学や生物、物理などの幅広い分野の基礎を学び、実験や演習を通してそれらの理解を深めることができました。



細胞を観察している様子

◎共同獣医学部 獣医学科6年 / 林原 安里さん

私は、附属動物病院や農場等で多くの臨床実習に参加しながら、卒業研究に精力的に取り組まれました。第9回九州実験動物研究会総会において「マウス精巣におけるインクレチン受容体の発現とその作用に関する研究」としてインクレチン受容体の発現を行いました。



研究室にて「山内・半田賞」賞状を掲げる林原さん